



# 年金者組合定期大会 ユーパロの湯で開催

6月22日、全日本年金者組合夕張支部はユーパロの湯において第30回支部定期大会を開催しました。

大会は「楽しみ7分・活動3部」を組合活動の合言葉とするこれまでにとりくみを総括しました。また、次の一年間の活動方針を確認し、執行役員を選出しました。

大会開催の場所を温泉施設での希望が多く、昨秋、ユーパロの湯が営業開始したことで地元での開催となりました。この一年間を振り返る中で年金制度が益々改悪されている点を重く見て、これからの取り組みをさらに強める必要性を再確認しました。また、15日に強行採決が行われた「共謀罪」法の廃止を求める運動も今後の重要な課題として確認されました。



(挨拶に立ったくまがい桂子市議)

年金者組合の楽しみを大切にする活動で、ダンス会の仲間が継続的に活動を続けているとして評価されました。この他に支部主催の旅行は2泊3日日程で、身体に優しい旅行として好評を得ているとの声がありました。役員改選は長年委員長を務めた田代テイ子さんに替わり、滝口光男さんが新委員長に選出されました。

来賓挨拶に立ったくまがい桂子市議は、夕張の地域再生について、これからの具体的な動きについて報告しました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(74)

大正10年のたたかい ⑭  
一大示威行動、三百人の葬式デモに

いよいよ7月14日、闘争は山場にきました。  
この日、丁未・斜坑・高松支部を中心に約三百名の組合員が、当時の町役場前に集結。  
「仏の顔も三度まで」とばかり、三回も騙され続けた砦夫たちの怒りは、高城支店長に集中します。

八尺程(約2m60cm)の木綿の布に大きく「大詐欺師！大悪漢！高城規一郎を葬れ！」と書いた幟を先頭になびかせ、デモは進みます。  
また墨痕鮮やかに「故大悪漢、高城規一郎之墓」と大書した、五尺五寸(約1m80cm)の大卒塔婆が現れます。こうして振鈴を鳴らしながら労働歌を高唱し行進しました。

### 暴力を振るう常套手段

デモが5区の橋上(旧サルナイ橋・栄橋)にさしかかった時、警察官の阻止に会い押し問答が始まります。これを合図のように物陰に隠れていた会社の世話役・巡視らが、そして暴力団までもが加わり、隊列に襲いかかり大乱闘になってしまいました。

### 混乱につけこみ一斉に検束

警察は待つてましたとばかり、かねてから目星を付けていた麻生久、坂口義治ほか坂口鶴治、松本徳松を含む八人を拘引します。

まもなく矢内民造、石川六郎、石和田周作、今崎音吉の四氏は釈放されますが、16日になって麻生、坂口義治、鶴治、松本の四氏が治安警察法違反として、岩見沢監獄に収監されてしまいます。



畠山和也「国会かけある記」  
衆議院議員  
**畠山 和也**

### 政治は必ず変えられる

日本共産党は議席を伸ばして躍進、自民党は過去最低の議席数を大幅に下回った東京都議選。安倍政権への明確な審判となりました。北海道からのたぐさんの応援も、大きな力になりました。連帯の力が、政治を動かしました。

私も連日、政党カーから支持を訴えましたが、足を止めて話しかける人の多くが「安倍首相はひどすぎる」と口をそろえていたのが大きな特徴でした。今後、安倍首相が逃げ続けたり暴走を加速するようなら、さらに大きな審判を受けることになるでしょう。いや、次なる政治戦となる衆議院選挙で必ずそうしたい！

多くの選挙区で、市民と野党の共闘が進んだことも大きな財産となりました。日本共産党の候補を応援していただいたり、日本共産党も候補の支援をしたり。これだけ多くの方と心を通わせて選挙をたかかったことは、次にも必ず生かすはず。このつながりが強まり広がることは、政治を変える希望の道だと確信しています。

野党四党で臨時国会を開くよう求めつつ、私も北海道での活動を強めます。今週は道労連や北農中央会などの懇談、釧路市での演説会、JR路線維持へ首長さんとの懇談などを予定しています。自民・公明による安倍政治が続けば、地方切り捨てが加速していくことは明らかです。戦争でき方とつながり、北海道の願いを背負って、さらに奮闘します。国づくりへ、憲法改悪の野望も安倍首相は捨てていません。私自身も多くの方とつながり、北海道の願いを背負って、さらに奮闘します。